

各 位

会 社 名 明豊ファシリティワークス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 坂田 明
 (JASDAQ・コード 1717)
 問合せ先
 役職・氏名 常務取締役 社長室長兼管理本部長 大島和男
 電話 03-5211-0066

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 14 日に公表しました平成 27 年 3 月期の通期業績予想を修正することとし、またこれを踏まえて、同日に公表しました平成 27 年 3 月期の配当予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
					円 銭
前回発表予想 (A)	8,400	570	400	257	22.96
今回修正予想 (B)	8,200	694	520	320	28.54
増減額 (B - A)	▲200	124	120	63	
増 減 率 (%)	▲2.4	21.8	30.0	24.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	8,245	625	385	222	19.91

修正の理由

当社の売上高は、プロジェクトから得られる売上総利益が同じであっても、顧客が選ぶ当社との契約形態によって大きく異なります。

通期売上高につきましては、当初の予想に比べ、ピュア CM (工事原価を含まないフィーのみの契約型 CM) が増加し、アットリスク CM (工事原価を含む請負契約型 CM) が減少しているため、売上総利益の増加に反して、売上高は当初予想を下回る見込みとなりました。

社内で管理している粗利益ベースの受注状況は、当初予想を上回り、かつ過去最高を記録しております。これにより売上総利益につきましては、今後も堅調に推移し、当初予想を上回る見込みとなりました。

受注状況等を踏まえながら人材の強化に努め、販売費及び一般管理費は増加しておりますが、これを吸収して、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、当初予想をそれぞれ上回る見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 7.00
今回修正予想	—	—	—	8.00	8.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	0.00	—	6.00	6.00

修正の理由

当社では、将来の事業発展と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的に配当を実施することを基本とし、併せて、業績の伸びに応じた配当を行なうため、配当性向を約30%とする旨を配当方針として定めております。

当期の通期業績予想を踏まえ、当期の1株当たり期末配当金及び年間配当金を7円から8円へ修正いたします。

以 上